

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-121241

(43)公開日 平成9年(1997)5月6日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 M 1/26			H 04 M 1/26	
H 04 Q 7/38			H 04 B 7/26 H 04 Q 7/04	109K H

審査請求 未請求 請求項の数9 O.L (全11頁)

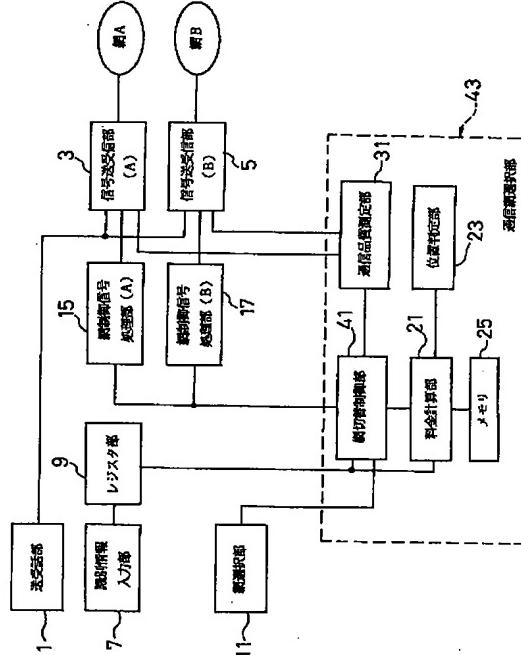
(21)出願番号	特願平7-277860	(71)出願人	000001214 国際電信電話株式会社 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号
(22)出願日	平成7年(1995)10月25日	(72)発明者	若原 恵 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号 国際電信電話株式会社内
		(72)発明者	宇都宮 栄二 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号 国際電信電話株式会社内
		(72)発明者	武笠 貴史 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号 国際電信電話株式会社内
		(74)代理人	弁理士 三好 秀和 (外3名)
			最終頁に続く

### (54)【発明の名称】 通信端末装置

#### (57)【要約】

【課題】 種々の通信網を用いて適切な通信ができる通信システムの実現に寄与し得る通信端末装置を提供する。

【解決手段】 通信網選択部43がアクセス可能な複数の異なる種類の通信網のうち料金計算部21および通信品質測定部31からの結果に基づき通信料金の安さおよび通信品質の高さを考慮して通信網を選択することで、複数の異なる種類の通信網を介して通信する場合の高コストパフォーマンス化を図っている。



に対応して設けられ、対応する通信網を介しての通信を実行制御する網制御信号処理手段と、通信相手である他の通信端末装置との通信料金が最も安価となる通信網を選択して、この選択した通信網に対応する網制御信号処理手段に呼接続させる通信網選択手段と、を有することを要旨とする。

【0006】請求項1記載の本発明にあっては、アクセス可能な複数の異なる種類の通信網のうち最も安価となる通信網を選択することで、複数の異なる種類の通信網を介して通信する場合の通信料金の低廉化を図っている。

【0007】請求項2記載の本発明は、請求項1記載の発明において、前記通信網選択手段が、自端末の位置を監視する位置判定手段を有し、監視している自端末の位置から他の通信端末装置への通信料金が常に最も安価となるように通信網を選択することを要旨とする。

【0008】請求項2記載の本発明にあっては、通信端末装置の移動に伴う通信料金の変化に対応して常に最も安価な通信料金での通信を実現することで、通信料金の低廉化を図っている。

【0009】請求項3記載の本発明は、複数の異なる種類の通信網のいずれか1つの通信網を介して通信する通信端末装置であって、前記複数の異なる種類の通信網のそれぞれに対応して設けられ、対応する通信網を介しての通信を実行制御する網制御信号処理手段と、通信相手である他の通信端末装置との通信品質が最も高くなる通信網を選択して、この選択した通信網に対応する網制御信号処理手段に呼接続させる通信網選択手段と、を有することを要旨とする。

【0010】請求項3記載の本発明にあっては、アクセス可能な複数の異なる種類の通信網のうち最も通信品質が高くなる通信網を選択することで、複数の異なる種類の通信網を介して通信する場合の通信品質の高品質化を図っている。

【0011】請求項4記載の本発明は、請求項3記載の発明において、前記通信網選択手段が、前記通信網のそれぞれの状態を監視し、他の通信端末装置との通信品質が常に最も高くなるように通信網を選択することを要旨とする。

【0012】請求項4記載の本発明にあっては、通信条件の様々な変化に伴う通信品質の変化に対応して常に最も通信品質が高い状態での通信を実現することで、通信品質の高品質化を図っている。

【0013】請求項5記載の本発明は、複数の異なる種類の通信網のいずれか1つの通信網を介して通信する通信端末装置であって、前記複数の異なる種類の通信網のそれぞれに対応して設けられ、対応する通信網を介しての通信を実行制御する網制御信号処理手段と、通信相手である他の通信端末装置との通信料金および通信品質に基づいて通信網を選択して、この選択した通信網に対応

する網制御信号処理手段に呼接続させる通信網選択手段と、を有することを要旨とする。

【0014】請求項5記載の本発明にあっては、アクセス可能な複数の異なる種類の通信網のうち通信料金の安さおよび通信品質の高さを考慮して通信網を選択することで、複数の異なる種類の通信網を介して通信する場合の高コストパフォーマンス化を図っている。

【0015】請求項6記載の本発明は、請求項1、2または5に記載の発明において、前記通信網選択手段が、通信料金に関する情報を、内蔵する、または前記複数の異なる種類の通信網を介して外部から入力することを要旨とする。

【0016】請求項6記載の本発明にあっては、通信料金に基づいて通信網を選択するに際して用いる通信料金に関する情報を、内蔵する、または外部から入力することで、通信料金に基づく通信網の選択を常に的確に行なえるようにしている。

【0017】請求項7記載の本発明は、請求項1乃至6のいずれかに記載の発明において、前記通信網選択手段が、選択した通信網の網制御信号処理手段による呼接続が拒否されたときには、次点の通信網を選択することを要旨とする。

【0018】請求項7記載の本発明にあっては、選択した通信網における呼接続ができないときには次点の通信網で呼接続することで、通信料金の低廉化および通信品質の高品質化を保持しつつ迅速に通信回線を確保している。

【0019】請求項8記載の本発明は、請求項1乃至7のいずれかに記載の発明において、前記通信網選択手段が、指定された他の通信端末装置の識別情報を記憶するレジスタ手段を有し、網制御信号処理手段を介しての呼接続にはこのレジスタ手段に記憶された識別情報を用いることを要旨とする。

【0020】請求項8記載の本発明にあっては、指定された他の通信端末装置の識別情報を記憶しておき、別の通信網にアクセスし直す場合や一旦通信が終了した後に同じ他の通信端末装置と再び通信する場合等における再度の識別情報の入力を不要とすることで、操作性の向上を図っている。

【0021】請求項9記載の本発明は、複数の異なる種類の通信網のいずれか1つの通信網を介して通信する通信端末装置であって、音声入出力手段と、この音声入出力手段からの音声信号および前記通信網を介して伝送された他の複数の通信端末装置からの音声信号を入力し、音声入出力手段および前記通信網に対し他の音声源からの音声信号を混合して出力する音声信号混合手段と、を有することを要旨とする。

【0022】請求項9記載の本発明にあっては、音声信号混合手段が音声入出力手段からの音声信号および前記通信網を介して伝送された他の複数の通信端末装置から

7 となく通信を続けることが可能となる。

【0030】したがって、本実施の形態によれば、通信コストの観点から利用者としては常に最適な網を利用し、別に同じ網にアクセスし直す場合や一旦通信が終了した後に同じ網に記憶された網を介して通信相手端末との間で呼接続を行なうことができる。さらに、このように他の網を介して通信料金情報を内蔵するメモリ25に予め記憶するようにしておけば通信センタのようないわゆる自動的情報を網A、Bを介して入力でき、必要な情報量が高くなることによってもよく、この構成の小型化を図ることができる。

【0031】なお、本実施の形態では、通信料金情報を網選択部11を介して必要な情報を網A、Bを介して入力でき、必要な情報量が高くなることによってもよく、この構成の形態では、網選択部11上で選択された網にアクセスするようにならなければ、網切替制御部19がこの確認指令なく自動的にアクセスするようになります。これによれば、操作の一層の簡素化を図ることができる。

【0032】また、本実施の形態では、網選択部11を介しての利用者からの確認指令を受けた上で選択された網にアクセスするようにならなければ、網切替制御部19がこの確認指令なく自動的にアクセスするようにならなければ、網切替制御部19がこの確認指令なく自動的にアクセスするようになります。これによれば、操作の一層の簡素化を図ることができる。

【0033】図2は、本発明の第2の実施の形態に係る通信端末装置の構成を示す図である。その特徴としては、網Aまたは網Bのうち通信相手端末との通信品質が最も高くなる方の網を選択するようにならなければ、そのため、本実施の形態においては、通信品質測定部31および網切替制御部33を具備する通信網選択部35を有する構成である。なお、図2において、図1と同一構成物には同一の符号を付す。

【0034】通信品質測定部31は、信号送受信部(A)3および信号送受信部(B)5を介してそれぞれ網Aおよび網Bから得られる信号、例えば信号電力、雑音／信号比(S/N比)、伝送誤り率、伝送遅延時間等に基づいて通信品質を測定するものである。

【0035】網切替制御部33は、通信品質測定部31による測定結果を受けて、網制御信号処理部(A)15または網制御信号処理部(B)17を駆動制御する機能を有するものである。

【0036】次に、本実施の形態の作用を説明する。

【0037】利用者が通信を行なうべく識別情報入力部Aから通信相手端末の識別情報を入力する。レジスタ部9は、この入力された識別情報を一旦記憶した後に網切替制御部33に出力する。識別情報が供給された網切替

8 制御部33は、通信品質の測定結果から、通信品質の高い方の網(例えば網A)を網選択部11を介して利用者に報知し、利用者によりる確認指令がこの網制御信号処理部11から戻ったことを検知した上で、網制御信号処理部(A)15に制御信号を出力し呼接続を行なわせる。これにより、利用者としては、送受話部1を介して網Aを利用した通信相手端末との通信を行なうことができる。これによる網Aが幅狭等の理由により通信相手端末との間で呼接続ができない場合、網切替制御部33は、網Aから別の網を検知して網Aへのアクセスを停止させる一方、レジスタ部9に記憶されている通信相手端末の識別情報を用いて網制御信号処理部(B)17に制御信号を出力し直ちに網Bへの呼接続を行なわせる。

【0039】一方、網Aを用いた通信が開始された後も通信品質測定部31から網切替制御部33に逐次供給される。通信品質は、同一の通信条件であつても必ずしも常に一定であるとは限らず、ましてや例えば通信端末装置の移動、天候の変化等の通信条件が変われば、これに伴つて網A、Bの通信品質を監視する。このため、網切替制御部33は、この測定信号から網A、Bの通信品質が高くなつたと判定すると、利用者に報知し、利用者を網選択部11を介して利用者に報知し、利用者による確認指令がこの網選択部11から戻つたことを確認して、網制御信号処理部(A)15に必要な信号を出力しその時点で網Aを利用して行なつていた通信を強制終了した上で、レジスタ部9に記憶されている通信相手端末の識別情報を用いて網制御信号処理部(B)17に制御信号を出力し呼接続を行なわせる。これにより、利用者としては、送受話部1を介して網Bを用いて通信相手端末との通信を引き続き行なうことが可能となる。なお、この場合、通信相手端末がキャッシュホルダーに加入していたとき、通信を切断しないで別の網を経由してキャッシュホルサーービスを利用した相手端末との呼接続を行なつて、通信相手端末とは切離すことなく、これによることが可能となり、通信相手端末側の操作を簡略化することができる。なま、通信用品の品質によれば、通信品の観点から利用者としては常に最適な網を利用して通信を行なうことができる。

【0040】したがつて、本実施の形態では、網選択部33がこの確認指令を受けた上で選択された網にアクセスするようにならなければ、網切替制御部33がこの確認指令なく自動的にアクセスするようにならなければ、通信相手端末との通信を簡略化することができる。

【0041】なお、本実施の形態では、網切替制御部33がこの確認指令なく自動的にアクセスするようにならなければ、網切替制御部33がこの確認指令なく自動的にアクセスするようにならなければ、通信相手端末との通信を簡略化することができる。

【0042】図3は、本発明の第3の実施の形態に係る通信端末装置の構成を示す図である。その特徴として

よく、また固定通信網を含む網構成でもよいことは言うまでもない。この場合、第1乃至第3の実施の形態において、通信料金および／または通信品質に基づいて選択された網へのアクセスが輻輳等の理由により拒絶された場合における別の網の選択に当っては、当該通信料金および／または通信品質に基づいて選択された網に対し次点の網を選択するのが好ましい。

**【0054】**

【発明の効果】以上説明したように、請求項1記載の発明によれば、アクセス可能な複数の異なる種類の通信網のうち最も安価となる通信網を選択することで、複数の異なる種類の通信網を介して通信する場合の通信料金の低廉化を図るようにしたので、種々の通信網を用いて適切な通信ができる通信システムの実現に寄与することができる。

【0055】請求項2記載の発明によれば、通信端末装置の移動に伴う通信料金の変化に対応して常に最も安価な通信料金での通信を実現するようにしたので、通信料金の低廉化を確実に図ることができる。

【0056】請求項3記載の発明によれば、アクセス可能な複数の異なる種類の通信網のうち最も通信品質が高くなる通信網を選択することで、複数の異なる種類の通信網を介して通信する場合の通信品質の高品質化を図るようにしたので、種々の通信網を用いて適切な通信ができる通信システムの実現に寄与することができる。

【0057】請求項4記載の発明によれば、通信条件の様々な変化に伴う通信品質の変化に対応して常に最も通信品質が高い状態での通信を実現するようにしたので、通信品質の高品質化を確実に図ることができる。

【0058】請求項5記載の発明によれば、アクセス可能な複数の異なる種類の通信網のうち通信料金の安さおよび通信品質の高さを考慮して通信網を選択することで、複数の異なる種類の通信網を介して通信する場合の高コストパフォーマンス化を図るようにしたので、種々の通信網を用いて適切な通信ができる通信システムの実現に寄与することができる。

【0059】請求項6記載の発明によれば、通信料金に基づいて通信網を選択するに際して用いる通信料金に関する情報を、内蔵する、または外部から入力するようにしたので、通信料金に基づく通信網の選択を常に的確に行なうことができる。

【0060】請求項7記載の発明によれば、選択した通信網における呼接続ができないときには次点の通信網で

呼接続するようにしたので、通信料金の低廉化および通信品質の高品質化を保持しつつ迅速に通信回線を確保することができる。

【0061】請求項8記載の発明によれば、指定された他の通信端末装置の識別情報を記憶しておき、別の通信網にアクセスし直す場合や一旦通信が終了した後に同じ他の通信端末装置と再び通信する場合等における再度の識別情報の入力を不要とするようにしたので、操作性を向上することができる。

【0062】請求項9記載の発明によれば、音声信号混合手段が音声入出力手段からの音声信号および前記通信網を介して伝送された他の複数の通信端末装置からの音声信号を入力し、音声入出力手段および前記通信網に対し他の音声源からの音声信号を混合して出力することで、網を管理している通信事業者が網内に持つ会議通話機能を利用することなく会議通話を行なえるようにしたので、種々の通信網を用いて適切な通信ができる通信システムの実現に寄与することができる。

**【図面の簡単な説明】**

【図1】本発明の第1の実施の形態の構成を示す図である。

【図2】本発明の第2の実施の形態の構成を示す図である。

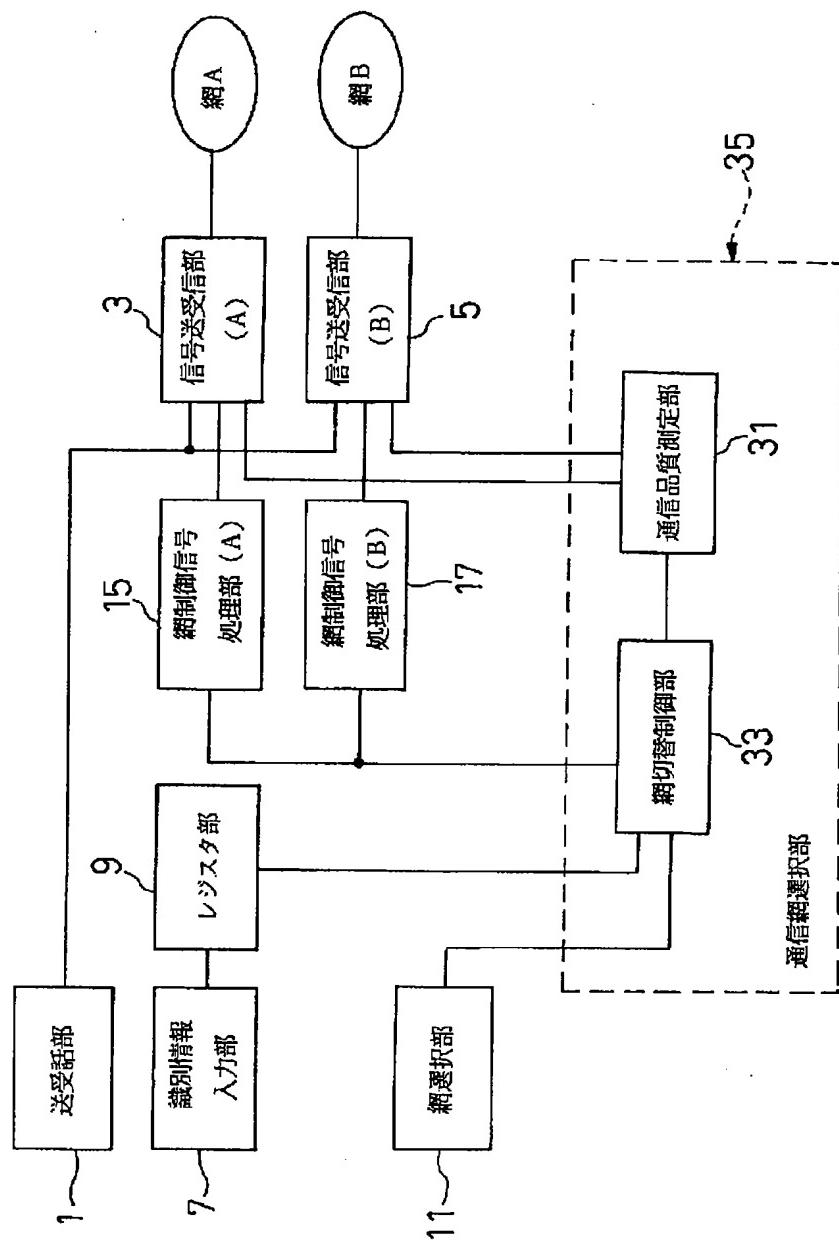
【図3】本発明の第3の実施の形態の構成を示す図である。

【図4】本発明の第4の実施の形態の構成を示す図である。

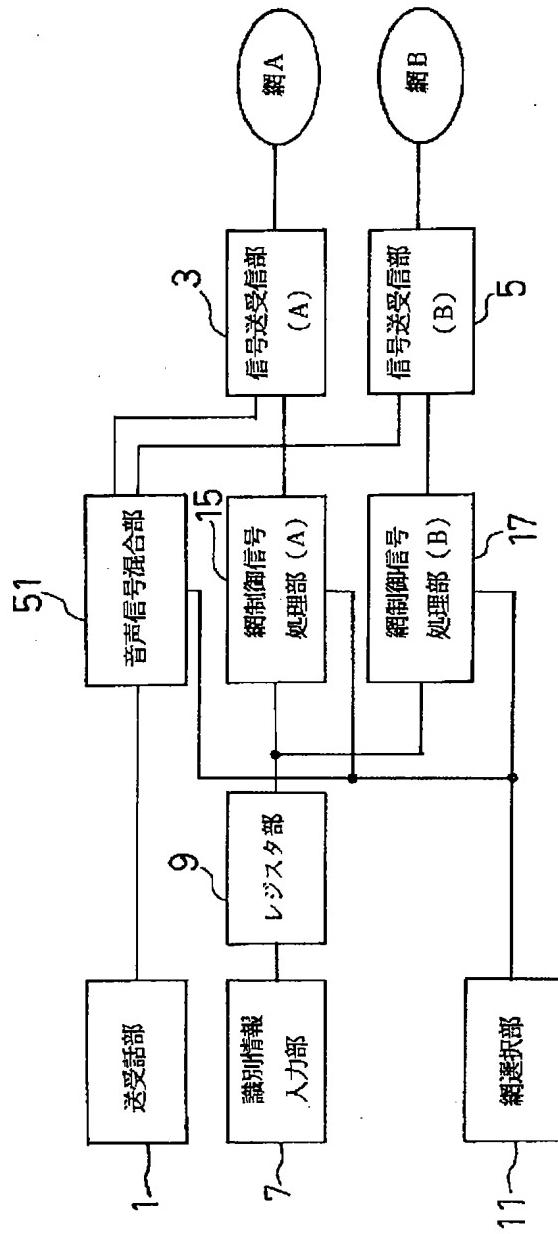
**【符号の説明】**

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1          | 送受話部        |
| 3          | 信号送受信部（A）   |
| 5          | 信号送受信部（B）   |
| 7          | 識別情報入力部     |
| 9          | レジスタ部       |
| 11         | 網選択部        |
| 13, 35, 43 | 通信網選択部      |
| 15         | 網制御信号処理部（A） |
| 17         | 網制御信号処理部（B） |
| 19, 33, 41 | 網切替制御部      |
| 21         | 料金計算部       |
| 23         | 位置判定部       |
| 25         | メモリ         |
| 31         | 通信品質測定部     |
| 51         | 音声信号混合部     |

【図2】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 中尾 康二  
東京都新宿区西新宿2丁目3番2号 国際  
電信電話株式会社内